

(活動報告書様式)

助成事業実施団体名	尾花沢まつりばやし保存会		
実施事業名	最上川が運んだ京文化「尾花沢まつりばやし」保存育成事業		
助成事業区分	※該当する事業名を○で囲んでください。 協働助成事業（一般型） 【県政課題名： 】 協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ名：うまい！を明日へ！郷土が誇る最上川と伝統文化保護・保全事業】 団体支援助成事業		
団体の所在市町村名	尾花沢市	事業費及び助成額	事業費 315,235円 助成額 300,000円



■事業目的

本保存会は、発足以来、最上川舟運により保存伝承されてきた祭囃子を後世に伝承する活動を集団活動として行ってきたが、より個別に楽しく練習できるように全組曲をCD化し、保存会員に配布し、自宅で練習できる体制を進め、更に高度な演奏技術の完成を狙ったものである。併せて、尾花沢市の無形文化財「尾花沢まつりばやし」の永久保存に資して、市外在住の尾花沢ゆかりの方の故郷愛を荒に深めるとともに、学校教育活動の教材として活用していくことを目的として実施した。

■実施内容

- ①「尾花沢まつりばやし」CD制作
 - ・「おげんげ」「やえん」「すころ」の3曲を合奏及び楽器ごとに演奏し録音した。
 - ・作成枚数:100枚、12月22日納品
 - ・演奏練習:9月～10月9/17(16名)・9/24(10名)・10/9(23名)
 - ・演奏録音:10月10日 演奏者(楽人会)10名
- ②CDの配付、活用(配付先:楽人23・教室受講生45・学校、公民館14・関係者、関係機関15)
 - ・楽人、まつりばやし教室受講生等に配付し、演奏練習の教材として活用
 - ・学校や市内施設等へ配付し地域文化の紹介等に役立てた
 - ・市外の尾花沢ゆかりの機関へ配付し、尾花沢市のPRに役立てた

■事業の成果及び今後の展望

- ①まつりばやし教室受講生に配付したことで、練習による演奏技術の向上が見込まれる。
 - ②関係機関へ配布し活用されることで、市内外の愛好者の関心を引き故郷愛の高揚と地域文化保存伝承が促進された。
 - ③小中学校等へ配付したことで、子どもたちの地域文化への関心が高まり、その伝承活動が促進された。
- 今後は、地区公民館での「まつりばやし教室」以外にも、市内各小学校や各地区の放課後児童クラブ等と連携し、まつりばやしの体験や演奏鑑賞を通して、「尾花沢まつりばやし」を尾花沢の貴重な伝承文化として広くPRし、子どもの頃から郷土の誇りとして認識を持ち、後世まで継承していきたい。